

健康な会社を目指して

株式会社 真幸土木

きっかけ

- 13年前の弊社の喫煙率70%
- 背景:タバコを吸う風土・環境(出雲地方・建設業)
- 父の死、病気をしたら仕事も出来ない ⇒ **健康第一**
- THP(健康づくり)活動の取組み、春木先生との出会い
- タバコの健康に与える悪影響を認識し、禁煙の必要性を感じる

受動喫煙対策

社員の同意を得ながら段階的に、

⇒分煙 ⇒室内禁煙 ⇒敷地内全面禁煙

禁煙チャレンジ

- 平成18年1回目：講演、禁煙宣言、禁煙外来治療費の全額助成
- 平成21年2回目：講演、禁煙宣言、禁煙外来治療費の全額助成

⇒ 喫煙率20%以下

その後、再喫煙・新入社員により喫煙率上昇25%

- 平成27年3回目：講演、禁煙宣言、禁煙外来治療費の全額助成

報奨金（全員達成すれば全社員に支給）

⇒ 8人中6人成功、喫煙率10%、全車両禁煙

- 三次喫煙対策：車内クリーニング

- フォロワー：禁煙成功の声をアンケートで喫煙者に届ける

啓蒙活動

タバコの害等の健康情報伝達

- 安全衛生委員会（毎月）
- 安全集会（全社員参加、毎月）
- 安全大会（年2回）、講演会（年1回）
- 社長からの全社員の携帯に送るメールマガジン

2015/03/07

メールマガジン第24号

「乳がんと喫煙」

今年、日本の免疫研究機関から、乳がんと喫煙に関する報告が出されました。

夫の喫煙との関係を分析したところ、妻本人がタバコを1本も吸わなくても、夫が1日に20本以上吸っている夫婦では、吸わない人に比べ妻の乳がん発症リスクが3倍に上昇する事が判明しました。

奥さんの事が大切なら禁煙です。

新入社員

採用面接時にタバコ対策の取組みを説明

入社後、禁煙誓約書提出

喫煙率低下の要因

- 社員の仲が良く、コミュニケーションが良い社風
- 社員満足向上の取組み
- 社員が会社の方針を理解する

受動喫煙のない職場づくりのポイント

- 経営トップが禁煙する
- 健康経営の考えを経営者も社員も理解する
- 会社の方針を理解してチームワーク良く行動できる社風
- 社員を会社の財産と考える
- 健康づくりにかかる費用は将来の投資と考える
- タバコの害についての知識・情報・禁煙の必要性を理解する機会をつくる
- 喫煙者を禁煙に挑戦する気持ちにさせる
- 禁煙を仲間で取り組み、周囲も応援する
- 禁煙に失敗しても、本人が諦めない様に励ます
- 若い社員に喫煙させない
- 結果を焦らない

今後の取組み

- 更なる健康経営の推進
- 喫煙者0(ゼロ)の達成
- メンタルヘルス対策
(チェック・指導・風通しのよい社風)